

第9回 杉一小学校運営協議会

日時：平成30年2月28日（木）17：00～18：15

会場：図書室

出席者：河北博文会長 伴野博美職務代理 井上廣司委員
竹越不可止委員 阿部憲一委員 齋藤博明委員
河野依子委員
校長 副校長 米山美智子主幹教諭
北澤 人主幹教諭



卒業式練習が始まりました。

《会次第》

1 会長挨拶 河北 博文会長

- ・平昌オリンピック 良い結果となり、よかった。
- ・10年間CS委員として過ごした。この10年間でAIの進歩がかなり進んだ。
公共交通機関においても、スマートフォンをもって画面を見ている人がほとんどである。
AIは今後どうなっていくのか。
- ・今後の課題：人間が人間らしい生活をするにはどうしたらよいか。
- ・10年間の任期を終了します。ありがとうございました。

2 校長挨拶 鈴木 知徳校長

- ・平成30年度の杉一小CSについて
河北博文様、岡田円治様が退任。
齋藤博明様 学識経験者として継続
福島様 校長推薦で新規委員
現役保護者から一人委員に加わっていただく。
- ・6年生の私立受験結果について 全体の4割強受験。
(課題)・保護者から合否の報告がない。
 - ・受験日以外の日にも欠席する。
 - ・塾志向の保護者。
- ・6年生の行事
2月23日 6年生を送る会 5年生以下の出し物をよい態度で見ている。
3月 1日 卒業感謝の会
※杉一小の6年間で何を学んできたのか、振り返ってほしい。

3 平成30年度 教育課程届出について 鈴木 朝代副校長

- ・届出書類から、今年度との相違点について説明

4 協議 「平成30年度の教育課程について」

① 「学びタイム」をどのように機能させるのか。

- ・本来の目的である「学び残し」をなくすことより、宿題や日々の課題をやり遂げさせるための時間になっている傾向がある。

◎管理職も関わりながら、保護者との連携をしっかりとる。

② いじめ対応について

- 先生の初めの対応が大切。研修し高め合うことがおろそかになっているのではないか。
- 教師任せになっているのではないか。
- 朝先生やすぎっ子くらぶなどの場面でも見逃さないようにする。
- 子どもたちは小さなことでも傷つきやすく、他人を傷つけるのは平気である。

◎教員の人権感覚を養う。 常に、優しい対応をする。

◎重大事件は、杉並区の組織で対応する。

◎動物を育てることから、命の大切さについて学んでほしい。

③保護者が基本

- 「親が変わらないと、子は変わらないのでは？」
- 親が子の状況を認識していないのに、学校への協力ができるのか。
- リストカットする子。(小学生でもいる)

◇河北病院 臨床心理士9名 小児科医10名 スタッフはそろっている

- 保護者との連携はちゃんとできるのか？

◎学校の活動と家庭との連携ができるようにしていく。

◎保護者への情報の出し方をもう一工夫する。 ◎アンケート用紙をもう一工夫。

◎学校公開の帰りがけに、アンケートを書いてもらったらどうか。

◎メール配信で知らせるのはどうか。

◎知らせる方法をいろいろと変えてみる。

- 保護者の学校支援本部に対する意識も変わってきている。

保護者の都合に合わせてほしいという要望。

- 「学校の宿題はしなくてもいい」と考えている保護者もいる。
- 経過を知らない保護者に何を言っても分からない。
- 子どもたちを通して保護者に伝えていかねばならない。

★今、目の前にいる子どもたちを成長させることが大切である。

★「共に育てる」をどのようにやっていくか。様々な場面で、子供と一緒に育てることを保護者に意識してもらう。

◎地域・保護者・学校が手をつなぐことが大切。

＝学校運営協議会委員の皆様から、

平成30年度教育課程届出について、承認をいただきました。＝

インフォメーション

《平成30年度 5月学校運営協議会》

日時は未定です。